

# もえぎ野中学校マニフェスト（中期学校運営計画）

## 計画期間

平成18年8月30日～平成23年3月31日

## 学校教育目標

自立……社会の一員として生きていく力を高めよう  
 磨く……自己を高めるために努力し、励もう  
 共生……一人ひとりが違いを認め合い、自分に誇りと自信を持とう

## 学校経営方針

いま、教育改革という名の下に、教育のあり方の見直しがおこなわれています。当然のように『個性化・多様化・自由化』の波は押し寄せてきています。また、社会情勢においても将来の展望が見えにくい中、一人ひとりの『生きる力』が強く求められています。しかし、そのような時だからこそ、子ども一人ひとりが温かな心やさわやかな心を持ち続けてもらいたいものです。そのためにも生徒を取り巻く環境（学校や地域・家庭）において子どもと大人がともに心が穏やかで安らかでなければ成り立ちません。子どもと大人が共に学び共に育つことを願い、そして指導の重点が学校でも家庭でも地域でも、日々暮らしの中において実践されるように推進していきます。

## 指導の重点

本を読もう

- ・ 子どもと大人と一緒に読書をする。
- ・ 図書室、図書館を大いに利用する。
- ・ 本に触れ合える環境づくりをする。

汗を流そう

- ・ 公園等公共の場の掃除や美化活動をおこなう。
- ・ 学校花壇を整備し活用する。
- ・ 子どもと大人が共に活動する場面を多くする。

あいさつ・声がけをしよう

- ・ 学校や地域・家庭において、自然に『おはよう』『こんにちは』のあいさつをする。
- ・ お互いに『ありがとう』『ごめんね』を素直に言う。

## 改善の視点

## 取組目標

(1) 「確かな学力」をつけるために、教育活動の充実と活性化を図る。

教育課程の見直しと効果的な評価の改善を特別委員会を作り研修します。  
 全職員が年1回以上公開授業をし、創意ある授業の工夫に努力します。  
 課題の具体的な提示に努めるために、月に1回の教科会を開き研修します。

(2) 安心・安全な学校づくりのために校内体制の充実と活性化を図る。

地震等の災害を想定した防災計画の作成等、防災計画の見直しを図り、家庭・地域に公開します。  
 保護者・地域・小学校・警察等関係機関と情報を共有し、三者連携を中心とした地域ぐるみの防犯対策に努めます。  
 小学校と連携した安全対策を実施します。

(3) 豊かな心やたくましい体をはぐくむための指導の充実を図る。

道徳の充実を図るため、指導計画の見直しと作成をします。  
 キャリア教育の充実を図り、各学年での実施内容を工夫します。  
 体力向上・強化のため、休み時間にはグラウンドで汗を流す生徒を増やします。

(4) 人権教育の充実を図る。	一人ひとりの大切さを知り、差別や偏見の過ちを繰り返さないよう、計画的な職員人権研修会を開きます。人と人の触れ合いを大切に、差別を許さず、正しい判断と強い責任感が醸成されるような指導を推進します。いじめや暴力の根絶を図るために、年間3回(10日)以上の教育相談日を確保、教育相談の充実を図ります。
(5) 生徒活動の活性化を図る。	生徒会を中心とした生徒による諸活動の活性化に向けて努力し、生徒の主体性、創造性を育みます。生徒一人ひとりが個として尊重され、高めあえるような集団づくりに努めます。ボランティア活動の充実を図ります。
(6) 進路指導の充実を図る。	生徒一人ひとりの能力・適正、興味・関心や将来の希望を重視し、自分で自分の生き方を切り拓いていけるよう、3年間を見通した計画的な進路指導を推進します。地域や保護者の協力を仰ぎ、職業体験学習を充実させます。
(7) 家庭・地域との連携を図る。	PTA活動や青少年育成関連の地域活動に職員・生徒の積極的参加を促し、家庭、地域の教育力のとりにこみに努めます。三者連携(学校・家庭・地域)を軸として、わたしたちの『まち』の学校づくりを推進します。学校の活性化という考えから、地域人材・外部人材に活用を図ります。サマーオープンスクールの継続。

人材育成の考え方	小学校との連携を図り、ともに研修をすることで児童生徒理解に力を付ける。小中合同研修会の実施。 校内研修の計画的な実施を図る。月1回の研修会の実施。 教職員の交流を活性化し、互いの力を高めあうことができる職員室にしていけます。
平成20年度の重点取組項目	サマーオープンスクールの充実を図り、地域の指導者との連携を深める。 生徒会の充実と活動内容の広報に努める。 学校行事の検討を行い、充実を図る。 朝読書を実施する。
これまでの取組結果	学校防犯のため、電子錠・モニター付きインターホンを設置しました。 サマーオープンスクールをより一層充実させました。 生徒会役員による朝の挨拶運動を継続しています。 図書室の蔵書の管理がコンピュータ化され、図書の整備をすすめました。 学区小学校との合同研修会をより充実させました。 各学年で取り組むキャリア教育の充実を図りました。
学校評議員会の意見等	もえぎ野中学校マニフェストを策定するに当たり、平成20年6月に学校評議員の方々にご意見をいただきました。主な意見は次のとおりです。  本を読むことから発展をし、様々な人の生き方を学んでほしい。 家庭の一員であることや地域の一員であることを学んでほしい。 人間は働いて自分の生活を支えていくのだということの大切さを学んでほしい。 挫折や人間関係などのトラブルにあった時に自分を立て直す力を身につけてほしい。 防災に関して地域との連携を一層深めてほしい。 職業体験にこれからも協力していくので、キャリア教育をしっかりと行ってほしい。

1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。

2 : 重点項目

第1回改訂 平成19年4月1日

第2回改訂 平成20年7月1日